

# 少量で使いやすい “畑の常備薬”

農林水産省登録  
第20304号

タネバエ・ネキリムシ類・シバツトガの防除に

# ダイアジン<sup>®</sup>

©は日本化薬株式会社の登録商標

## 粒剤 10

- 成分：ダイアジン<sup>®</sup>(PRTR-1種)10.0%
- 性状：類白色細粒
- 毒性：医薬用外劇物
- 包装：3kg×6袋

だいたいの  
マメシクイガ、  
フタスジヒメハムシ  
対策に!!



### 特長 1 高い殺虫効果

マメシクイガ・タネバエ・ネキリムシ類・シバツトガ等の  
各種害虫に高い防除効果を示します。

### 2 省力型製剤

少量で優れた効果を示す高濃度粒剤のため散布時間が  
短縮され、持ち運びも楽になりました。

### 3 安定した効果

接触毒・食毒効果にすぐれています。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。●防除日誌を記帳しましょう。  
この印刷物は平成28年10月現在の登録内容に準拠して作成しました。

 **日本化薬株式会社**

東京都千代田区丸の内二丁目1番1号(明治安田生命ビル)  
TEL.03-6731-5321 FAX.050-3730-7867

# ■ダイアジノン粒剤10の適用害虫および使用方法

実際の使用にあたってはラベル記載内容をよく確認してください。

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数
あすき	タネバエ	3kg/10a	は種時	1回	作条土壌混和	4回以内 (種子粉衣は1回以内、は種時の処理は1回以内、生育期の処理は3回以内)
いんげんまめ						3回以内 (種子粉衣は1回以内、粒剤は2回以内)
豆類(種実、ただし、だいず、あすき、いんげんまめ、うっかせいを除く)						4回以内 (種子粉衣は1回以内、粒剤は3回以内)
だいず	フタスジヒメハムシ	1.5~3kg/10a	収穫30日前まで	4回以内	無人ヘリコプターによる散布	6回以内 (種子粉衣は1回以内、粒剤は5回以内) (生育期の処理は4回以内)
	マメシクイガ				散布	
えだまめ	ネキリムシ類	3kg/10a		5回以内	土壌表面散布	
ほうれんそう	タネバエ	3~5kg/10a	は種時	1回	作条土壌混和	
だいこん、はつかだいこん	ネキリムシ類	3kg/10a	収穫21日前まで	2回以内	土壌表面散布	2回以内 (生育期は1回以内)
はくさい					土壌表面散布	1回
キャベツ			タネバエ	5kg/10a	定植時	1回
レタス	ネキリムシ類			全面土壌混和 又は作条土壌混和		
ねぎ、わけぎ、あさつき たまねぎ	タネバエ タマネギバエ		は種時 定植時	土壌表面散布		
にんじん	ネキリムシ類	3kg/10a	は種時及び生育期ただし 収穫90日前まで	2回以内	土壌表面散布	2回以内 (は種前及びは種時は合計1回以内、 生育期は1回以内)
カリフラワー、ブロッコリー			収穫30日前まで			2回以内 (粒剤の生育期の処理は1回以内)
芝	シバツトガ、ケラ		発生初期	4回以内	散布	4回以内

ビニールハウス等の同一施設内において、収穫期が異なる作物を栽培している場合、本剤を土壌表面散布で使用しないでください。

## 上手な使い方

### 処理方法

#### マメシクイガ、フタスジヒメハムシ

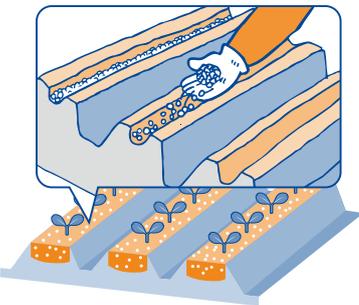
- 葉上から撒きむらのないように散布します。
- 発蛾最盛期～幼虫ふ化期(マメシクイガ)が散布適期です。害虫の発生が、ダラついたり、長引いたりした場合には、10日～2週間間隔で2回散布します。



#### タネバエ

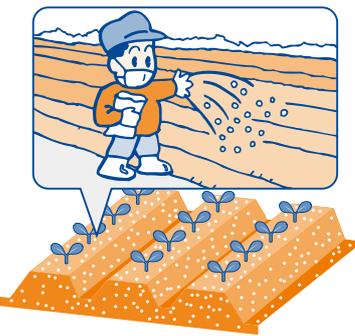
- 出芽までに幼虫の被害を受けやすいため、薬剤が種の周辺に集中するよう、**播種時に作条土壌混和します(キャベツを除く)。**

注)初期(播種時)の被害は十分に抑えますが、後期(収穫時)の被害には生育期処理の体系防除が必要となります。



#### ネキリムシ類

- 幼虫に薬剤をより接触させるよう、**は種時または定植時に全面散布します。**(だいず、えだまめ、だいこん、はつかだいこん、にんじん、カリフラワー、ブロッコリーでは生育期にも使用できます。)



### 混和深度

- 若齢幼虫は地際部に寄生していることが多いため、できるだけ浅く混和します。
- だいず、だいこん、はつかだいこん、はくさい、キャベツ、レタス、にんじん、カリフラワー、ブロッコリーのネキリムシ類に用いる場合は、混和の必要がありません。

#### 浅く混和



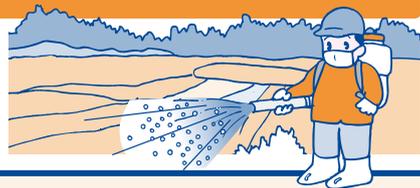
#### 深く混和



### 処理方法

#### シバツトガ、ケラ

- 芝全面にかかるよう、**発生初期に散布します。**
- 混和の必要はありません。



### 試験成績

#### 【マメシクイガ】だいず

平成21年度(社)宮城県植物防疫協会

- 発生状況:中発生 ●区制・面積:660m<sup>2</sup>/区 ●散布日:8/26,9/8
- 調査日:11/2に開葉調査(10/30(成熟期)刈取り後風乾) ●葉害:なし

供試薬剤	薬量	散布方法	被害粒率(%)
ダイアジノン粒剤10	3kg/10a	無人ヘリ	0.3
ダイアジノン粒剤5	6kg/10a	地上散布	0.7
無処理	-	-	6.2

#### 【タネバエ】だいこん

平成10年(社)北海道植物防疫協会

- 発生状況:多発生 ●区制・面積:7.5m<sup>2</sup>/区・3連制
- 処理日:6/8 ●調査日:6/22(間引時) ●葉害:なし

供試薬剤	薬量	被害率(%)
ダイアジノン粒剤10	3kg/10a	0.3
A 粉剤	3kg/10a	0.7
無処理	-	3.0

#### 【ネキリムシ】レタス

平成10年(社)日本植物防疫協会高知試験場

- 発生状況:放虫 ●区制・面積:4.8m<sup>2</sup>/区・2連制
- 処理日:7/4 ●調査日:7/7 ●葉害:なし

供試薬剤	薬量	食害株率(%)
ダイアジノン粒剤10	3kg/10a	0
B 粒剤	6kg/10a	8.0
無処理	-	55.0

#### 【シバツトガ】芝

平成14年(財)西日本グリーン研究所

- 発生状況:中発生 ●区制・面積:2m<sup>2</sup>/区・3連制
- 処理日:8/1 ●調査日:8/8 ●葉害:なし

供試薬剤	薬量	防除率(%)
ダイアジノン粒剤10	3g/m <sup>2</sup>	93.1
C乳剤 1,000倍	0.3g/m <sup>2</sup>	72.0